

平成27年度 研究・調査企画会議 事後評価部会（第2回）  
議事概要

1 日時：平成27年7月29日（水）10：00～12：00

2 場所：食品安全委員会中会議室

3 出席者（6名）五十音順

圓藤 陽子（（独）労働者健康福祉機構関西労災病院産業中毒研究センター長）

岡部 信彦（川崎市健康安全研究所所長）

尾崎 博（東京大学大学院農学生命科学研究科教授）

鬼武 一夫（日本生活協同組合連合会品質保証本部安全政策推進部部長）

◎川村 孝（京都大学環境安全保健機構副機構長（健康科学センター長併任））

眞鍋 昇（大阪国際大学教授（学長補佐））

（◎：座長）

その他、食品安全委員会から佐藤委員長ほか3名が、事務局から姫田事務局長ほか10名が出席

4 議事概要

（1）平成26年度終了研究課題の事後評価結果（案）について

- 事務局から、前回の事後評価部会において事後評価（ヒアリング審査）を実施した以下①から⑦の平成26年度終了研究課題について、事後評価部会委員の評価コメントや意見に基づき事務局で取りまとめた各課題の評価所見（案）を提示し、審議を行った。
- その結果、本日の審議を踏まえて事務局が評価所見（案）を一部修正し、同部会委員が内容を確認した上で、食品安全委員会に報告することになった。

<事後評価（ヒアリング審査）対象課題>

- ①1302：核内受容体作用と酵素誘導解析を基盤とした、化学物質による肝肥大の毒性学的評価に関する研究（静岡県立大学：吉成浩一）
- ②1303：化学物質により誘発される肝肥大の毒性学的評価手法の確立と今後の問題点（国立医薬品食品衛生研究所：吉田緑）
- ③1304：遺伝毒性発がん物質のリスク評価手法に関する研究（国立医薬品食品衛生研究所：小野敦）
- ④1305：食用動物由来薬剤耐性菌の定量的食品健康影響評価モデルの確立（酪農学園大学 田村豊）
- ⑤1401：香料化合物のリスク評価手法に関する調査研究（実践女子大学：山崎壮）

- ⑥1405：肝マクロファージの機能特性に基づいた肝毒性の新規評価手法の構築と緻密化（大阪府立大学：山手丈至）
- ⑦1408：食品からのアクリルアミド摂取量の統計的推定に関する研究（国立研究開発法人国立環境研究所：鈴木規之）

—以上—

（注：本部会は個別具体的な研究者や研究課題名及び研究の内容に言及して議論が行われることから、非公開で行った。このため、本会議の議事概要についても、それらが特定されない形で公表するものである。）